

精神神経疾患を対象とした自発脳波および聴性定常反応の臨床脳波研究

1. 臨床研究について

宮崎大学医学部附属病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、宮崎大学病院精神科では、現在精神神経疾患の患者さんを対象として、精神神経疾患を対象とした自発脳波および聴性定常反応の臨床脳波研究に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和10年3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

主要な精神神経疾患については分子、細胞、遺伝、神経生理などといった様々なアプローチで研究が進められています。しかし、現在でも客観的な検査、指標といったものはなく、非特異的な症状や経過などを根拠に診断されるのが現状です。

その一方で、それぞれの病気について効果があるお薬は異なる事が知られており、早期の適切な治療介入の重要性が明らかになって来ています。今回の研究は直接的にあなたの治療に関わることはありませんが、各疾患の診断や治療のための客観的な指標の確立を目的としており、適切な早期治療が促進されると考えています。

脳波は脳の電氣的活動を脳波計により記録するもので、器質的な病気を除外する目的や、脳機能の評価などのために一般的に行われる検査で、あなたの場合も臨床上の必要から脳波検査を行う予定になっておられます。

一方、コンピュータ技術の発展などから、脳波について近年では周波数解析などの今までよりも詳しい解析を行うことが可能になっています。特に、ガンマ帯域という一定の周波数の活動、一定の頻度でのブザーのような音を聞いた時の活動が精神神経疾患での違いが現れるマーカーの可能性があると近年注目されております。

本研究は安静時および5分間の音を聞いていただいた時の脳波データを解析して、各疾患の間での違い、健常者との違いを調べることで、精神神経疾患やその治療の客観的な指標を確立することを目的としています。

3. 研究の対象者について

本研究は12歳以上の統合失調症、双極性障害、大うつ病性障害、自閉スペクトラム症、てんかん、不安障害(パニック障害、社交不安障害、強迫性障害、全般性不安障害など)、器質性精神障害(認知症、せん妄、ステロイド精神病など)の患者さんで診療での必要性から脳波検査を受けられる方、これらの疾患の疑いがある方、自分の意思での同意が可能な方、健常者の方を対象としています。ただし、除外基準として、音を聞いて頂く検査のため、

聴力障害がある場合、また、患者さん群では精神症状が不安定で、ご協力頂く事で症状が悪くなる可能性があるとして担当医が判断する場合は対象になりません。健常者の場合は精神疾患の既往および第一度近親者(親、兄弟、子)に精神疾患の方がおられる場合は対象になりません。

本研究でデータの収集を行う宮崎大学、九州大学、東京大学、東京医科歯科大学、順天堂大学、慶応義塾大学、富山大学、東京慈恵会医科大学、熊本大学、三重大学、山梨大学、山形大学、愛知医科大学、下総精神医療センター、肥前精神医療センター、帆秋病院、足利赤十字病院、榊原病院において、令和2年5月28日から令和7年5月31日の間に研究に参加された全ての方を対象にします。研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

- (1) こちらの臨床研究への参加に同意頂きましたら、カルテからの年齢、性別、疾患名、罹病期間、未治療罹病期間、服薬量、入院歴、心電図などの情報を取得させていただきます。また、社会経済尺度(教育歴や職業についての情報)、利き手、ご家族(親・兄弟・子)の精神疾患の既往歴についてお伺いさせていただきます。さらに、5分ほどかかる音楽経験に関する質問紙に回答していただきます。
- (2) 検査の前に20分間ほどの知能・生活機能検査と30分間ほどの性格検査をさせていただきます。また、疾患に合わせた臨床症状の評価もさせていただきます。症状評価の所要時間は疾患により異なりますので、以下をご覧ください。これらの検査と症状評価は脳波との関連性を見るためのものです。

- ・統合失調症：PANSS(主として統合失調症の精神状態を全般的に把握するための評価尺度です。約30分の面接を行います。)、BACS(主として統合失調症の認知機能障害を評価するための検査です。約30分かかります)
- ・早期精神病：SIPS/SOPSあるいはCAAMRS(精神病前駆状態の症状を評価するための尺度です。約30分の面接を行います。)
- ・双極性障害：YMRS(気分高揚、活動の増加などの躁病エピソードを評価するための尺度です。約20分の面接を行います。)
- ・大うつ病性障害：SIGH-D(うつ病の重症度を評価するための尺度です。約40分の面接を行います。)、PHQ-9(うつ病の重症度を評価するための尺度です。数分程度かかる質問紙に回答していただきます。)
- ・自閉スペクトラム症：AQ(個人の自閉症傾向を測定するための尺度です。10分ほどかかる質問紙に回答していただきます。)、CAARS(10分ほどかかる注意欠如・多動性障害の重症度を把握するための質問紙に回答していただきます)
- ・不安障害：HAM-A(不安神経症の際に認められるさまざまな症状を評価するための尺度です。約20分の面接を行います。)、GAD-7(全般的な不安障害のスクリーニングや重症度を評価する質問紙です。数分程度かかる質問紙に回答していただきま

す。)

- ・パニック障害：PDSS(パニック障害の中核的な症状の重症度を評価するための尺度です。約15分の面接を行います。)
- ・強迫性障害：Y-BOCS(強迫性障害の症状の重症度と型を評価するための尺度です。約10分の面接を行います。)
- ・社交不安障害：L-SAS(社交不安障害の程度を測定するための尺度です。10分ほどかかる質問紙に回答をしていただきます。)
- ・せん妄：MMSE(認知症スクリーニング検査です。10分ほどの課題を行っていただきます。)、DRS-R98、MDAS(せん妄の重症度を評価するための尺度です。医師等が臨床所見から評価を行います。)
- ・認知症：MMSE、Moca-J(軽度認知障害をスクリーニングする検査です。10分ほどの課題を行っていただきます。)、CDR(認知症の重症度を評価するための尺度です。医師等が臨床の中で患者への問診やその身近な人からの話を聞いて評価を行います。)、NPI(認知症の周辺症状の頻度と重症度及び介護者の負担度を測定する検査です。介護者の方に15～30分に質問をしたり、質問紙に記入をしてもらったりします。)

- * どの症状評価も臨床の一環で実施をするものであるため、研究参加にあたって追加で時間がかかるものではありません
- * 複数の疾患の疑いがある場合は、複数疾患にまたがる症状評価・心理検査を実施することがあります
- * 健常者には、患者さんに実施するAQ、CAARS、BACS、GAD-7、PHQ-9の実施をお願いします場合があります。

- (3) 脳波室にて通常の脳波検査の記録の途中で、約5分間の音(ブービーというサイレンの様な音です)を聞いていただきます。通常の脳波検査自体は、脳波室のベッドで仰臥位で臥床して頂き、頭部に電極を装着した後に記録を開始します。電極装着など準備に20～30分、記録は20分程度で終了します。
- (4) 得られた脳波データをコンピュータを用いて解析し、疾患群間、健常者との比較を行います。また、データ駆動型の解析手法を用いて、同一疾患や疾患横断的の脳波データを複数のサブタイプに分類します。
- (5) また、複数回脳波を計測した場合には、各時点での脳波の比較を行い、治療経過との関係性(薬物療法、電気けいれん療法、TMS療法などによる脳波指標の変化など)を調べます。

〔カルテから取得する情報〕

脳波データ、年齢、性別、疾患名、疾患下位分類、罹病期間、服薬量、入院歴、治療歴、心電図

各施設で収集された背景情報・臨床情報は、宮崎大学が各施設に配布したデータベース（FileMaker Pro で作成）上で、個人情報が暗号化された状態で管理されます。各参加者には被験者 ID、各検査には検査 ID が割り振られ、それらの ID を基に脳波データと背景情報・臨床情報の対応付けが行われます。各施設で測定された脳波データは、日本光電の脳波用ソフトウェアを用いて、個人を特定できる情報を削除した上で、データベースで生成された検査 ID をファイル名として保存されます。これらの電子情報はパスワードの設定されたコンピューターや記憶媒体に保存されます。紙媒体での情報については、個人情報が特定される情報を記載しないことを徹底した上で、検査後に鍵のかかったロッカーで保管をする。

上記の方法で、各施設に配布したデータベースで管理された背景情報・臨床情報や脳波データは、郵送及びファイル共有サービスを通して宮崎大学にも送付され、一括管理されます。また、宮崎大学で管理する多施設データは、東京科学大学、順天堂大学、慶応義塾大学、富山大学、東京慈恵会医科大学、熊本大学、三重大学、山梨大学、山形大学、愛知医科大学、新潟大学、横浜市立大学、京都大学、千葉工業大学、東京都市大学、大阪大学、東邦大学、中部大学、下総精神医療センター、肥前精神医療センター、帆秋病院、足利赤十字病院、榊原病院、野崎病院、若草病院、VIE 株式会社、住友ファーマ株式会社(住友ファーマ株式会社には、宮崎大学が管理するデータの内、当該企業へのデータ提供に関して適切な同意が得られたデータのみが提供される)にも提供され、解析が行われます。また、「精神疾患の脳波特性に関する臨床研究」(九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会, 2019-249)、「精神病性障害関連遺伝子の解析研究」(富山大学臨床研究審査委員会, I2013006)、「抑うつ症状を呈する精神疾患の脳機能基盤と経時的変化についての縦断的研究」(東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会, 3202-(20))、「精神病性障害関連遺伝子の解析研究」(大阪大学研究倫理審査委員会, 706-18)、「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」(国立精神・神経医療研究センター倫理委員会, B2022-105)、うつ病に対するニューロモジュレーション治療の影響、効果を評価するための脳波解析研究(熊本大学大学院生命科学研究部等人を対象とする生命科学・医学系研究疫学・一般部門倫理委員会, 倫理第 3078 号)で取得・管理された脳波及び臨床データについても、本研究で取得した脳波及び臨床データと統合して解析が行われます。尚、熊本大学で取得されたデータについては、電気けいれん療法あるいは反復経頭蓋磁気刺激治療を受けたうつ病患者の治療前後における脳波データや臨床データ(既往歴, 病歴, 処方情報, WAIS, JART, WHODAS, SIGH-D など)が共有されて解析が行われます。

5. 個人情報の取扱いについて

この臨床試験の結果は、学会発表や論文での報告、特許などに使用しますが、あなたのプライバシーに関する秘密は全て厳守します。氏名などの個人を特定する情報は、報告に当たって一切使用しません。なお、この臨床試験が正しく行われていて秘密が守られることを前提として、監査や倫理審査委員会関係者などが、必要な範囲内で、この試験に参加していただいている皆さまの試料・情報を閲覧する場合があります。

今回の共同研究で取得した情報については、個人を特定できる情報をおぼし、共同研究先（他大学・企業を含む）への情報提供が行われる可能性があります。その際、個人情報の取扱い、提供先の機関名、提供先における利用目的が妥当であること等については、倫理審査委員会で審査を受けています。個人情報管理責任者は宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野教授の平野羊嗣です。

6. 試料や情報の保管等について

今回の研究で取得した情報については、紙媒体によるものは鍵のある研究室内ロッカーで保管し、脳波データなどの電子データは、個人を特定できる情報を外し、ID をふった上で、パスワードの設定されたコンピュータ、記憶媒体（HDD、USB メモリーなど）に保存します。データと個人を結びつける対応表については、パスワードが設定され、外部ネットワークに接続されていないコンピュータに保存します。保存期間は論文発表後最低 10 年間とします。

本研究で取得されたデータは以下の研究で二次利用されます。

- 本研究で健常者及びせん妄患者の脳波及び臨床情報は、「定量脳波・分子生物学的解析を用いた心血管手術後せん妄の予測・解明」（熊本大学大学院生命科学研究部等人を対象とする生命科学・医学系研究疫学・一般部門倫理委員会，倫理第 2866 号）にも提供されて解析に用いられます。

- 健常者及びうつ病患者から取得した全てのデータ（脳波及び臨床情報）は、うつ病に対するニューロモジュレーション治療の影響、効果を評価するための脳波解析研究（熊本大学大学院生命科学研究部等人を対象とする生命科学・医学系研究疫学・一般部門倫理委員会，倫理第 3078 号）に提供されて解析が行われます。

- 山形大学で計測された脳波データは、PiB-PET による脳内アミロイドの画像診断（山形大学医学部倫理審査委員会，2023-35），レム睡眠行動異常のレビーおよびアミロイド病理の画像検査（山形大学医学部倫理審査委員会，2021-170），認知症の病態の進行に影響する重症化因子の特定と進行予防への効果的な介入方法の確立のための研究（山形大学医学部倫理審査委員会，2023-153）に提供されて、本研究と上記研究に共通で参加した被験者において、本研究で取得した脳波データと、上記の研究で取得された脳画像データや臨床データの関連性が検討されます。

- 本研究で得られた脳波及び臨床情報は、「texture 解析を用いた DAT-SPECT における線条体集積と抑うつ症状の関連についての後方視的検討」（東京科学大学医学部倫理審査委員会，M2019-038）で得られた SPECT データとの関連解析に用いられます。

- 本研究で得られた脳波及び臨床情報は、「磁気共鳴画像法（Magnetic Resonance Imaging）で得られた脳画像と臨床評価尺度のデータベース構築と多施設による共同運用」（東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会，3150-(36)），「難治性統合失調症における安息香酸の効果とグルタミン酸・グルタチオンの変化」（山梨大学臨床研究審査委員会，CRB3210002），「**生物学的検査を用いた精神神経疾患の診**

断を目指すバイオマーカーの探索および、治療反応性その他精神疾患のサブグループを解明する病態探索研究」(慶應義塾大学医学部倫理委員会, 20241008) で取得されたMRI データとの関連解析に用いられます。

- 「精神疾患における心電図検査の臨床的意義に関する後方視的研究」(30-152 (9173)) にデータ提供が行われ、当該研究の枠組みで脳波と心電図の関連解析が行われます。

- 本研究で得られた脳波データは、「神経伝達物質受容体修飾薬投与による精神疾患サルモデルの脳波評価」(京都大学動物実験委員会, 2025-005)、「麻酔域下用量のケタミン投与による統合失調症様サルモデルの脳波評価」(京都大学動物実験委員会, 2024-110) に提供され、当該研究で取得された健常及び統合失調症モデルのサル・マーマセットの脳波データとの比較が行われます。

今後、本試験で得られたデータを別の試験に二次利用する場合(他の研究機関への提供も含む)は、改めてその試験計画を倫理審査委員会において審査し、承認を受けた上で利用します。この場合も、あなたの実名を出すようなことは一切ありません。あなたの病状や名前などに関する情報を含めプライバシーは厳重に守ります。

7. 利益相反について

宮崎大学では、より優れた医療を社会に提供するために積極的に臨床試験を推進しています。そのための資金は、公的資金以外に企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。現代社会では医学試験の発展にとって、企業との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。一方で、産学連携を進めた場合、臨床試験が企業の利益のためになされるのではないかと、試験についての説明が公正に行われないのではないかとといった疑問が生じることがあります。このような状態を「利益相反」—患者さんや被験者の利益と試験者や企業の利益が相反(衝突)している状態—と呼びます。患者さんや被験者の利益が最優先されるべきであることは当然のことですが、臨床試験においてはその判断がきわめて難しくなっています。そのような問題に対応して、臨床試験に参加する予定の人々には、その研究の資金源も含めて、十分な説明がなされなければならないことが国際的なルールとして定められています。これに対応して、本試験の倫理審査機関である九州大学でも、「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医学系部局における臨床試験に係る利益相反マネジメント要項」が定められています。これらに基づいて、以下のように対応することとしております。

本試験の資金は、厚生労働省科学研究費、文部科学省科学研究費および共同研究費を用います。この研究には住友ファーマ株式会社から講演料を受領している研究者が参加をしますが、各研究者個人と企業との利益相反関係については、各機関で管理されています。加えて、当該研究者はデータの解析等には携わることはありません。本試験で得られたデータは、宮崎大学、住友ファーマ株式会社リサーチディビジョン、九州大学の三者間の共同研究契約に基づき、個人を特定できる情報を削除した上で、当該企業に共有されます(ただし、宮崎大学と九州大学で取得されたデータ、及び、宮崎大学で一括管理される施設(東

京大学、東京医科歯科大学、順天堂大学、慶応義塾大学、富山大学、東京慈恵会医科大学、熊本大学、三重大学、山梨大学、山形大学、愛知医科大学、新潟大学、横浜市立大学、下総精神医療センター、肥前精神医療センター、帆秋病院、足利赤十字病院、榊原病院、野崎病院、若草病院) のデータのうち当該企業での解析について適切な同意を受けたデータに限ります)。また、当該企業は本試験に係るデータの解析を、宮崎大学と九州大学と共同で行いますが、その他の研究実務には関与しません。VIE 株式会社も宮崎大学との共同研究で本研究のデータ解析に従事するため、当該企業に個人を特定できる情報を削除した上でデータの共有が行われます。これらの情報を提供したうえで、臨床試験実施計画は倫理委員会で審議され、承認されました。また、利益相反状態が存在することによって、被験者に不利益が及ぶ恐れはないと判断されました。

利益相反の詳細についてもっと詳しく知りたい場合は、九州大学病院研究支援課倫理審査係（電話：092-642-5082）までお問い合わせ下さい。

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。また、ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所 (分野名等)	宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野
研究責任者	宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・教授 平野羊嗣
研究分担者	九州大学病院精神科神経科・講師 平野昭吾 九州大学病院精神科神経科・特任助教 中村一太 九州大学大学院医学研究院精神病態医学・共同研究員 中西翔一郎 九州大学大学院医学研究院精神病態医学・大学院生 三笥良 九州大学大学院医学研究院精神病態医学・大学院生 藤野勝 九州大学大学院医学研究院精神病態医学・大学院生 甲斐直路 九州大学大学院医学研究院精神病態医学・大学院生 金光芳樹 九州大学病院検査部・臨床検査医学分野・教授 國崎祐哉 九州大学病院検査部・臨床検査医学分野・技師長 堀田多恵子 九州大学病院検査部・臨床検査医学分野・技師 酒田あゆみ 九州大学病院検査部・臨床検査医学分野・技師 渡邊恵利子 九州大学大学院医学研究院神経内科学・教授 磯部紀子

九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・教授
重藤寛史

九州大学病院脳神経内科・臨床助教 向野隆彦

九州大学大学院医学系学府神経内科学・大学院生 山口高弘

九州大学大学院医学系学府神経内科学・大学院生 松本航

東京大学バリアフリー支援室・准教授 切原賢治

東京大学医学部附属病院精神神経科・助教 越山太輔

東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻・教授
天野薫

東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻・助教
山下歩

東京大学情報理工学系研究科システム情報学専攻・大学院生 許
鈺婷

東京大学情報理工学系研究科システム情報学専攻・大学院生 高
木 柚李

東京科学大学行動医科学分野・教授 高橋英彦

東京科学大学精神行動医科学分野・講師 高木俊輔

東京科学大学精神行動医科学分野・助教 中村 啓信

東京科学大学検査部・講師 叶内 匡

慶應義塾大学医学部精神神経科・講師 中島振一郎

慶應義塾大学医学部精神神経科・特任准教授 野田賀大

慶應義塾大学医学部精神神経科・助教 黒瀬心

慶應義塾大学医学部精神神経科・助教 和田真孝

慶應義塾大学医学部精神神経科・特任助教 尾久守侑

慶應義塾大学医学部精神神経科・大学院生 谷口敬太

慶應義塾大学医学部精神神経科・大学院生 本間咲希

慶應義塾大学医学部精神神経科・大学院生 塚崎天輝

慶應義塾大学医学部精神神経科・学部生 高橋航来

慶應義塾大学医学部精神神経科・学部生 水鳥俊

慶應義塾大学医学部精神神経科・共同研究員 金城めぐみ

慶應義塾大学 環境情報学部・准教授 藤井進也

慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科・特任助教 近藤聡
太郎

慶應義塾大学理工学部 生命情報学科・教授 牛場潤一

慶應義塾大学理工学部 生命情報学科・助教 岩間清太郎

下総精神医療センター臨床検査室・主任臨床検査技師 竹ノ内
一雅

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学・主任教授 加藤

忠史

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学・准教授 多田真理子

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学・研究補助員 早野留果

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学・研究補助員 高山温実

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学・研究補助員 佐々星時

順天堂大学健康データサイエンス学部・准教授 徳田慶太

肥前精神医療センター・院長 上野雄文

肥前精神医療センター臨床研究部・非常勤研究員 織部直弥

肥前精神医療センター臨床研究部・非常勤研究員 光藤崇子

肥前精神医療センター臨床研究部・臨床検査技師長 松永洋

肥前精神医療センター臨床研究部・副臨床検査技師長 大石礼

肥前精神医療センター臨床研究部・リサーチアシスタント 中山菜穂

穂

肥前精神医療センター臨床研究部・臨床検査技師 杉山明里紗

富山大学学術研究部医学系・講師 樋口悠子

富山大学学術研究部医学系・講師 笹林大樹

東京慈恵会医科大学精神医学講座・准教授 品川俊一郎

東京慈恵会医科大学精神医学講座・講師 曾根大地

東京慈恵会医科大学精神医学講座・助教 亀山洋

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教 田村俊介

介

宮崎大学医学部医学科内科学講座呼吸器・膠原病・脳神経内科学分野・准教授 梅北邦彦

宮崎大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師長 猪崎みさき

宮崎大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師 福永恵子

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・講師 船橋英樹

樹

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教 古郷央一郎

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教 大平洋明

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教 金丸杏奈

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教 久保浩

明

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教 藤元貴

子

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・医員 中尾周

平

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・医員 鶴田健

二

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・医員 矢野間

悠晟

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・医員 松山桃

子

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・医員 横山慎

太郎

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・事務補佐員

長友満南

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・技能補佐員

小玉裕美

宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・技能補佐員

合原圭祐

宮崎大学医学部医学科 玉田達大

宮崎大学医学部医学科 小宮菜々子

宮崎大学医学部医学科 田中俊佑

宮崎大学医学部医学科 三浦琳子

宮崎大学医学部医学科 山田ウィリアム

帆秋病院・院長 帆秋伸彦

住友ファーマ株式会社リサーチディベジション基盤技術研究ユニット G マネージャー 市川治

住友ファーマ株式会社リサーチディベジション基盤技術研究ユニットフェロー 池田和仁

住友ファーマ株式会社リサーチディベジション基盤技術研究ユニット G マネージャー 岩村善博

住友ファーマ株式会社リサーチディベジション基盤技術研究ユニット主任研究員 岩崎剛之

住友ファーマ株式会社リサーチディベジションプロジェクトディレクター 永田英孝

住友ファーマ株式会社リサーチディベジション基盤技術研究ユニット主任研究員 アライ賢亮

住友ファーマ株式会社リサーチディベジション基盤技術研究ユニット主任研究員 西郡寛太郎

住友ファーマ株式会社リサーチ・ディベージョン基盤技術研究ユニット研究員
山口誠貴

国立病院機構榊原病院・院長 鬼塚俊明

国立病院機構榊原病院・臨床検査技師 小林学

国立病院機構榊原病院・臨床心理士 壁屋康洋

国立病院機構榊原病院・臨床心理士 辻井真砂

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座・特任研究員
新井脩泰

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座・大学院生 荻野 肃

三重大学医学部附属病院精神科神経科・講師 元村英史

三重大学医学部附属病院検査部・副技師長 渡邊孝康

三重大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師 伊藤彩也花

三重大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師 久富一毅

三重大学医学部附属病院検査部・臨床検査技師 中山裕介

東京大学大学院総合文化研究科・准教授 小池進介

東京大学特別教授室・特別教授 合原一幸

京都大学大学院医学研究科・特定助教 岡本有司

京都大学ヒト行動進化研究センター高次脳機能分野・教授 中村克樹

京都大学白眉センター・特定准教授 鴻池菜保

東京都市大学情報工学部知能情報工学科・講師 ニーナ スヴィリドヴァ

千葉工業大学情報科学部情報工学科・教授 信川創

大阪大学情報科学研究科・助教 山下洋史

山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系・教授 鈴木健文

山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系・准教授 岩田祐輔

山梨大学医学部精神神経医学講座・医員 渡邊慎太郎

山形大学医学部医学科精神医学講座・教授 鈴木昭仁

山形大学医学部医学科精神医学講座・准教授 小林良太

山形大学医学部医学科精神医学講座・助教 森岡大智

愛知医科大学医学部精神医学講座・名誉教授 兼本浩祐

愛知医科大学医学部精神医学講座・教授 宮田淳

愛知医科大学医学部精神医学講座・講師 河合三穂子

愛知医科大学医学部精神医学講座・講師 田所ゆかり

愛知医科大学医学部精神医学講座・講師 深津孝英

愛知医科大学医学部精神医学講座・助教 新武諒亮

愛知医科大学医学部精神医学講座・助教 藤田貢平
愛知医科大学医学部精神医学講座・助教 吉田太郎
愛知医科大学医学部精神医学講座・助教 太田真柚子
愛知医科大学医学部精神医学講座・助教 吉本隆明
愛知医科大学医学部精神医学講座・大学院生 一瀬裕太郎
愛知医科大学医学部精神医学講座・大学院生 杉本裕子
愛知医科大学医学部精神医学講座・研究補助員 服部律子
VIE 株式会社事業本部チーフニューロテクノロジーオフィサー・茨木拓也

VIE 株式会社事業本部ニューロサイエンティスト・横田悠右
VIE 株式会社事業本部ニューロサイエンティスト・常明
VIE 株式会社事業本部メディカル事業責任者・小栗孝之
横浜市立大学大学院医学研究科精神医学・主任教授 浅見剛
横浜市立大学附属病院生理機能検査室・助教 白石洋子
横浜市立大学附属病院精神科・助教 永露毅
横浜市立大学附属病院精神科・助教 鈴木卓也
横浜市立大学附属病院精神科・助教 若月智詞
横浜市立大学附属病院精神科・助教 竹井ゆき乃
横浜市立大学研究・産学連携推進センター拠点事業推進部門・部門長 教授 宮崎智之
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野・教授 朴秀賢
新潟大学脳研究所附属統合脳機能研究センター・准教授 伊藤浩介

野崎病院・院長 石田康
野崎病院・医師 治田彩香
野崎病院・医師 加藤和男
野崎病院・検査課長 田村絹子
若草病院・院長 水野謙太郎
若草病院・医局長 水野学
若草病院・医員 白土俊明
若草病院・医員 近藤真里
若草病院・医員 早川正樹
若草病院・医員 水野恵三子
若草病院・医員 長友伶奈
若草病院・医員 押川加奈
若草病院・医員 安武正
若草病院・診療技術部部长 水野和代
若草病院・薬剤課課長 長澤悠太

若草病院・薬剤師 水野真紀
 若草病院・薬剤師 石川章子
 若草病院・薬剤師 今村由香
 若草病院・薬剤師 北田千尋
 若草病院・薬剤師 柏田奈菜
 若草病院・外来看護師課長 河野由香里
 若草病院・看護師 大村かおり
 若草病院・看護師 木藤千景
 若草病院・看護師 富奥美輝子
 若草病院・看護師 河野めぐみ
 若草病院・看護師 松田響加
 若草病院・看護師 川越礼子
 東邦大学理工学部情報科学科・准教授 我妻伸彦
 東邦大学理学部生物分子科学科・准教授 上田奈津美
 中部大学ロボット理工学科・教授 稲垣圭一郎

共同研究施設 及び 試料・情報の 提供のみ行う 施設	施設名 / 研究責任者の職名・氏名	役割
	九州大学病院精神科神経科 / 助教・平野昭吾	情報収集・解析
	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 / 医学部内講師・高木俊輔	情報収集・解析
	慶応義塾大学医学部精神科神経科 / 講師・中島振一郎	情報収集・解析
	順天堂大学大学院医学研究科 / 主任教授・加藤忠史	情報収集・解析
	下総精神医療センター / 慶応義塾大学医学部精神神経科特任助教・尾久守侑	情報収集
	足利赤十字病院神経精神科 / 慶応義塾大学医学部精神神経科大学院生・三村悠	情報収集
	肥前精神医療センター臨床研究部 / 非常勤研究員・織部直弥	情報収集
	帆秋病院 / 院長・帆秋伸彦	情報収集
	富山大学学術研究部医学系 / 講師・樋口悠子	情報収集・解析
	東京大学バリアフリー支援室 / 准教授・切原賢治	情報収集・解析
	東京慈恵会医科大学精神医学講座 / 准教授・品川俊一郎	情報収集・解析

住友ファーマ株式会社リサーチ・イノベーション基盤技術研究ユニット ／マネージャー・市川治 榊原病院／院長・鬼塚俊明	解析 情報収集・解析
熊本大学神経精神医学講座／教授・竹林実	情報収集・解析
三重大学精神科神経科／講師・元村英史	情報収集・解析
山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系・准教授 岩田祐輔	情報収集・解析
山形大学医学部医学科精神医学講座・准教授 小林良太	情報収集・解析
愛知医科大学医学部精神医学講座・教授 宮田淳	情報収集・解析
京都大学医学研究科／特定助教・岡本有司	解析
千葉工業大学情報科学部／教授・信川創	解析
東京都市大学情報工学部／講師・Nina SVIRIDOVA	解析
大阪大学情報科学研究科／助教・山下洋史	解析
VIE 株式会社事業本部／チーフニューロテクノロジーオフィサー・茨木拓也	解析
新潟大学医歯学総合研究科精神医学分野／教授・朴秀賢	情報収集・解析
横浜市立大学大学院医学研究科精神医学／教授・浅見剛	情報収集・解析
野崎病院／院長・石田康	情報収集・解析
若草病院・水野恵三子	情報収集・解析
東邦大学理学部情報科学科准教授・我妻 伸彦	解析
中部大学ロボット理工学科教授・稲垣 圭一郎	解析

10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

事務局
(相談窓口)

担当者：宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教
田村俊介

連絡先：〔TEL〕0985-85-9249(宮崎大学医学部附属病院 精神科外来)

作成日：令和7年4月11日 第5版
[ホームページ公開用資料]

メールアドレス：nouseiri.ku@gmail.com